



## 人権講話で語ったこと (2023年)

校長 石畑 浩一

12月10日の世界人権デーに合わせて、日本全体で、4日～10日の一週間を人権週間としています。実際、各関係機関及び団体が協力し、全国的にシンポジウムや講演会・座談会などのイベントが開催される中で、人権尊重精神の高揚を呼びかけているのです。また、小中学校でも人権ネタでの取組を実施することも多い、人権月間の12月でもあります。本校でも本年度、2回目の人権旬間として学年別にテーマをもった調べ学習や人権教室を開きました。そして、12月5日の5校時に、私(わたくし)、校長による人権講話を全校対象で行ったところでした。まだ、人権月間です。下記の内容に関連することであれば、なお嬉しいことですが、地域や御家庭でもぜひ、子どもたちに人権に関する話を語っていただければ幸いです。



その人権講話の流れとしては、脳も若くてまっすぐで吸収力の高い入来中の生徒たちですから、シャワーのように人権に関する座学的知識を浴びせる場面と、友人関係をより生き生きとかかわり合えるものにしたという狙いのもと、5人くらいの人数で行う「によおきによきニョッキーゲーム」や3～4人くらいで行う「共感座談会」などのロールプレイング的心理ワークの活動をする場面とを取り混ぜて行いました。どちらの場面においても、私の説明に瞬時に反応し、何かを学び取るぞ～という気持ちを感じ、相変わらずすばらしい聴く態度だと感心しました。

講話内容としては、以下のような項立てでした。①人権とは？

②命のリレー ③錯覚や勘違いを乗り越えて、柔軟に考えよう ④

人権教育の視点『私も大切、あなたも大切』 ⑤人権教育の視点『(M) 見つめる・(o) 思いをめぐらす・(m) 向き合う＝Mom (モム)』 ⑥人権教育の視点『共感』 ⑦入来中の生徒の共感(入中学生の特長)とは？ ⑧挨拶大事：あいさつの漢字を秒で覚えよう テムヤテサンキュー ⑨校歌にあるように互いに『たたえて伸びよう』＝褒め合おう ⑩人権問題もハラスメントもたくさんの種類がある ⑪人権問題の中でも同和問題は室町の昔から今に続く不合理な差別であるが、日本固有の優れた文化を創り上げたり、高い技術を伝承しつつ、生き抜いてきたすごい人々の歴史でもある ⑫共感を生みやすい言葉や姿勢を使ってみよう

### 生徒の感想の一部を紹介します

- ★共感の意味をよく理解していなかったけど、今日の話聞いて人権と共感への理解が深まった。
- ★人権があることで、自分の意見を主張することが出来るから、社会が成り立っているんだなと思った。
- ★ずっと昔から差別があったことに、びっくりした。
- ★絵本の朗読も多様性への理解が深まったし、人権についても沢山考えることができてよかったです。
- ★ゲームでたくさんコミュニケーションができた。人権についてよくわかった。
- ★人権を誰のものでも守られるような世の中になってほしい。ゲームが楽しかった。
- ★人権について知らなかったことを知ることができ、によきによきゲームを成功させることができてよかった。
- ★共感という言葉をいつも当たり前のように使っているけど、今考えてみるととても素敵な言葉だと思った。
- ★人権についてもともと知っていたことだけでなく、知らなかったことも知れたのでよかった。座学だけでなく、ゲームや周りの人と会話できたので、先生の話も聞きやすかった。
- ★人権について再確認することができました。「挨拶」の漢字もおぼえられました。
- ★空気を読むことの大切さがわかった。ときどきあるゲームが楽しかった。
- ★人権について学んで知っていることもあったけど知らないこともいろいろ学びました。普段あまり話さないことを話して、すごく楽しかったです。これからも学校全体でいじめがないように、お互い注意合ってお互いのきずなを深め合っていきたいです。また、いろいろな人に感謝しながら生活していきたいです。
- ★漢字の覚え方やによきによきニョッキーゲームなどでいろいろな人権学習ができました。
- ★人権についていろいろ知って考える事ができて良かった。また、簡単なゲームで相手のことを知ることができて良かった。

## お互いに尊重し合い、思いやりあふれる学校をめざして ～人権教室～

12月10日は、世界人権宣言が採択された日であり、「人権デー」と定められています。本校では、この「人権デー」を最終日とする2週間（11月28日から12月10日）を人権旬間と設定し、人権意識の高揚を図りました。特に12月2日（金）と12月7日（水）には、1年生は「なかまづくり」、2年生は「水俣病とハンセン病から人権を学ぶ」、3年生は「進路保障」というそれぞれのテーマで人権教室を実施しました。全学年対象に人権教室を実施し、「によおきによきニョッキゲーム」や3～4人で行う共感的な「座談会」など楽しい雰囲気の中で人権について考えました。学習したことをしっかりと実践していくことで人権意識の定着を図っていきたいです。



座談会の様子

## 笑う門には福が入って来る

12月9日（土）、PTA役員の有志と今年度はサッカー部員・コーチにも参加してもらい多数の協力で、門松づくりを行いました。午後からの約1時間半の作業でしたが、談笑を交えながら楽しい活動となりました。門松は、年神さまが宿るための依代（ヨリシロ）だといわれています。きっと素晴らしい福が入って来て、来年が入来中にとって良い年になるのではないかと思います。御協力くださった皆さん、ありがとうございました。



## 入来語いもんそ会（読み聞かせ）

12月15日（金）、「入来おじゃはんか」の3名が来校し、今年度2回目の読み聞かせをしてくださいました。朝読書の時間に各学級に入っただき、鹿児島弁や時節にあった絵本を読んだ後、それぞれの思いを語ってくださいました。3学期にもう一回予定されていますが、どんな本を読んでいたのか楽しみにしています。



## 心の健康・子どもとの関わり方 ～学校保健委員会～

12月8日（金）、学校保健委員会を行いました。今回は、「心の健康」をテーマに、あいら臨床心理士 今村葉子先生を講師に迎え、保護者が参加するワークも交えながら、自己成長エゴグラムを使っての自己診断や子どもへの接し方を楽しく学びました。学んだことを多くの保護者と共有していけたらいいと感じています。ご参加いただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。



## 思春期講話（2年生）

12月12日（火）、2年生を対象に思春期講話を実施しました。助産師の藤崎のみ子様を講師に招き、思春期の身体とこころの発育発達について幅広く学びました。「今、自分が生きているのは当たり前ではないんだ」と命の尊さを感じた生徒も多くいたようです。



## 受賞の記録

- ◎鹿児島学校環境衛生学会薬物乱用防止絵画コンクール  
特選：亀之園 隆太さん（1年）
- ◎令和5年度SDGs絵画コンクール  
優秀賞：迫田 夕凧さん（3年）  
鹿児島信用金庫賞：杉田 聡美さん（3年）
- ◎第28回トンボロ芸術村コンテスト書道部門  
佳作：大園 杏さん（2年）

## 今後の主な行事 12/2(土)おじゃったモール赤い羽根募金 2年塚下さん、里平さん

- 1月 1日(月) ❶ 元日
- 4日(木) 仕事始め
- 8日(月) ❷ 成人の日
- 9日(火) 始業式 職員会議  
いじめのない学校づくりの日
- 10日(水) 3年実力テスト～11日
- 12日(金) 第3回英語検定  
PTA運営委員会・役員選考委員会
- 13日(土) 土曜授業
- 15日(月) 家庭学習強調週間（～22日）  
家庭学習時間は1年は100分 2年は110分  
3年は120分以上が目安です。
- 16日(火) 鹿児島学習定着度調査（1・2年）～17日
- 17日(水) 安全点検日
- 18日(木) 私立高校入試事前指導（3年）
- 22日(月) 教育相談～29日 職員会議
- 23日(火) 生徒集会
- 31日(水) 全校朝会 小中交流学習 中学校入学説明会

